

L3 スイッチバージョンアップ手順書

CentreCOM 98/96/89/87/86 シリーズ

アライドテレシス株式会社

目次

1	ファームウェアインストーラーについて.....	3
1.1	ファームウェアインストーラーの動作.....	3
1.2	ダウンロードモジュール.....	3
1.3	ファームウェアインストーラーの動作環境.....	4
2	ファームウェアインストーラーのインストール.....	4
2.1	アンインストール.....	4
3	バージョンアップ.....	5
3.1	ダウンロードモジュールの解凍.....	5
3.2	通信の確認.....	5
3.3	バージョンアップの実行.....	6
4	トラブルシューティング.....	13
4.1	ファームウェアファイルの転送に失敗する.....	13
	ご注意.....	14
	商標について.....	14
	マニュアルバージョン.....	14



1 ファームウェアインストーラーについて

1.1 ファームウェアインストーラーの動作

ファームウェアインストーラーは、ファームウェアやファームウェアに付随するファイルを 9800/9600/8900/8700/8600 シリーズ L3 スイッチ（以下「L3 スイッチ」）にインストールするツールです。ファームウェアをバージョンアップするときなどに使用し、L3 スイッチに対する以下の操作を自動的にを行います。

- ダウンロード済みのファームウェア、パッチ、ヘルプの削除
- ファームウェア、パッチ、ヘルプなどのダウンロード
- ファームウェアの有効化（enable）
- パッチ、ヘルプなどの適用
- L3 スイッチの再起動
- ログファイルの出力（YYMMDD_hhmmss.log）

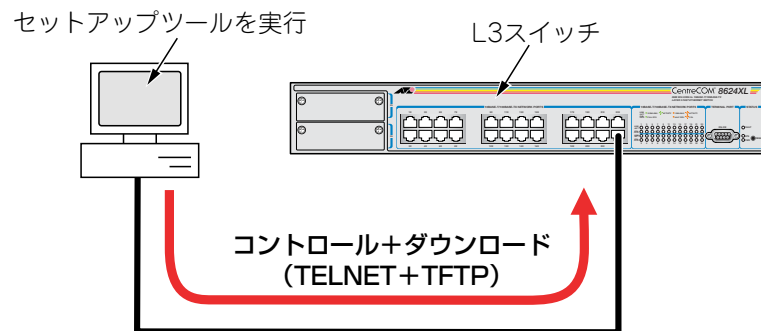


図 1.1.1 ファームウェアインストーラーの動作

最新のファームウェアインストーラーは、弊社 Web ページからダウンロードできます。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

1.2 ダウンロードモジュール

ダウンロードモジュールは、以下のファイルをセットにしたものです。「swit □□□□ .exe」のような名前の自己解凍ファイルで提供されます（□で表記した部分は機種、バージョン、パッチに依存します。また、リリースによっては一部のファイルが提供されないことがあります）。

- ファームウェアファイル（86s-□□□ .rez、89-□□□ .rez、sb-□□□ .rez、sr-□□□ .rez）
- パッチファイル（86□□□ -□□ .paz、89□□□ -□□ .paz、sb □□□ -□□ .paz、sr □□□ -□□ .paz）
- ヘルプファイル（help.hlp）
- バージョンアップ情報ファイル（swthinf.ini）

最新のダウンロードモジュールは、弊社 Web ページからダウンロードできます。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

1.3 ファームウェアインストーラーの動作環境

ファームウェアインストーラーは、日本語版の下記の OS で動作いたします。

- Windows[®] 98、Windows 98 Second Edition、Windows Me
- Windows NT[®] 4.0、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional

ファームウェアインストーラーは、下記の L3 スイッチに適用可能です。

- 9800 シリーズ
- 9600 シリーズ
- 8900 シリーズ
- 8700 シリーズ
- 8600 シリーズ

2 ファームウェアインストーラーのインストール

- 1 ファームウェアインストーラーの自己解凍ファイルを用意し、コンピューター上の適当な場所に置いてください。自己解凍ファイルをダブルクリックしてください。
- 2 次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先として「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。

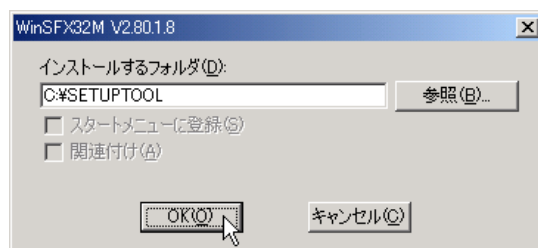


図 2.0.1 解凍先のフォルダーを指定

- 3 次のようなファイルが解凍されます。



図 2.0.2 解凍されたファイル

2.1 アンインストール

ファームウェアインストーラーを解凍したフォルダーを削除してください。前述の例では、「C:¥SETUPTOOL」です。

3 バージョンアップ

3.1 ダウンロードモジュールの解凍

- 1 最新のダウンロードモジュールを用意し、コンピューター上の適当な場所に置いてください。
ダウンロードモジュールをダブルクリックしてください。
- 2 次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先としてファームウェアインストーラーと同じフォルダー「C:\SETUPTOOL」を仮定します。

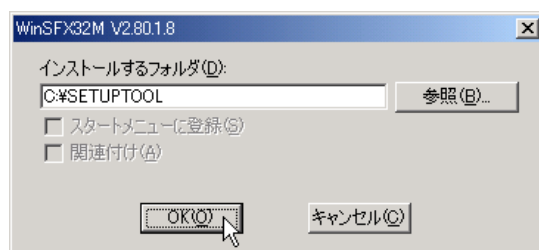


図 3.1.1 解凍先のフォルダーを指定

3.2 通信の確認

L3 スイッチにファームウェアなどをダウンロードするためには、ファームウェアインストーラーを実行するコンピューターと、L3 スイッチが IP で通信できなければなりません。通信ができない場合は、次のようにしてコンピューターと L3 スイッチが通信できるように設定してください。以下の説明は、次のような仮定で行います。ご使用の L3 スイッチに合わせて適宜設定してください。

- L3 スイッチ (default VLAN) の IP アドレス / サブネットマスク 「192.168.10.1/255.255.255.0」
- ファームウェアインストーラーを実行しているコンピューターの IP アドレス / サブネットマスク 「192.168.10.100/255.255.255.0」

- 1 コンソールターミナルから L3 スイッチに Manager レベルでログインし (デフォルトのユーザー名は「manager」)、次のコマンドを実行してください。

```
manager > enable ip   
manager > add ip interface=vlan1  
          ipaddress=192.168.10.1 mask=255.255.255.0 
```

- 2 Windows 98/Me の場合は MS-DOS プロンプトから、Windows XP、Windows 2000、Windows NT の場合はコマンドプロンプトから、L3 スイッチに対して Ping を実行します。「Reply from 192.168.10.1」のように表示されれば通信が可能です。

```
C:\¥> ping 192.168.10.1 
```

3.3 バージョンアップの実行

重要：バージョンアップは、絶対に運用中には行わないでください。万が一、L3 スイッチ運用中に実行した場合、バージョンアップに失敗するだけでなく、L3 スイッチが起動できなくなる可能性があります。

Ver.2.2.2 PL.18 へのバージョンアップを例にして、手順を説明します。実際の手順では、お客様がご使用になるバージョン番号に読み替えて、バージョンアップを実行してください。

- 1 CONSOLE ポート (RS-232) から、または Telnet によって、L3 スイッチにログインしている場合は、ログアウトしてください (ログインした状態で以下の手順を実行すると、バージョンアップに失敗することがあります)。

```
manager > logout 
```

また、ファームウェアインストーラーは、IP アドレスがひとつのみ割り当てられたコンピューターで実行してください (コンピューターに複数の IP アドレスが割り当てられていると、ファームウェアの転送に失敗することがあります)。

- 2 「fwinst.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。



図 3.3.1 ファームウェアインストーラーの起動

- 3 「参照」をクリックしてください。

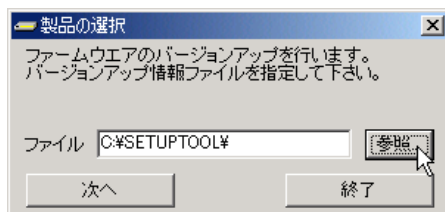


図 3.3.2

- 4 該当機種のバージョンアップ情報ファイル (ini) を選択して、「開く」をクリックしてください。
下記では、バージョンアップ情報ファイルとして「swthinf.ini」を選択しています。



図 3.3.3 バージョンアップ情報ファイルの指定

- 5 「次へ」をクリックしてください。



図 3.3.4

- 6 ダイアログボックスの内容（インストールされるバージョン）を確認し、「次へ」をクリックしてください。

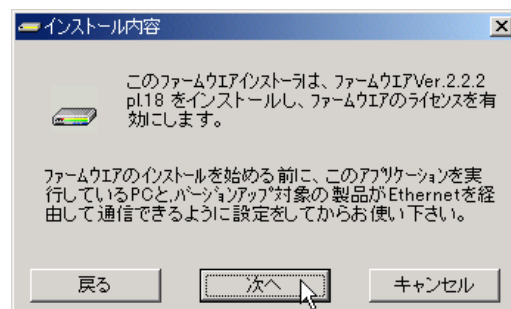


図 3.3.5 バージョンの確認

- 7 「IP ネットワーク」を選択し、バージョンアップの「対象機器の IP アドレス」を入力して、「OK」をクリックしてください。^{*1}

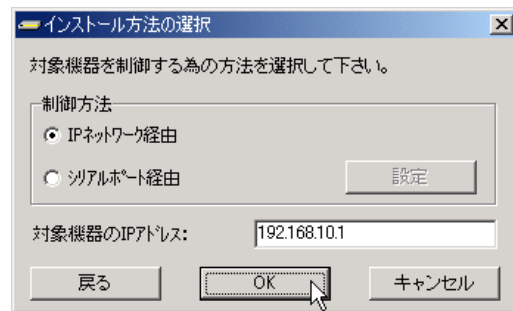


図 3.3.6 L3 スイッチの IP アドレスの入力

- 8 ユーザー「manager」のパスワード^{*2}を入力し、「OK」をクリックしてください。

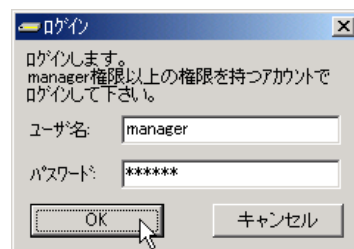


図 3.3.7 ログイン

*1 誤ってファームウェアを消去し、さらに電源のオフ / オンまたは「restart reboot」コマンドによる再起動を行ってしまった場合は、「シリアルポート経由」を選択してください。ファームウェアが存在しない状態で、L3 スイッチを起動すると BootROM モードとなり、Telnet は使用できません (tftp はサポート)。

*2 ユーザー名「manager」の初期パスワードは「friend」です。

- 9 バージョンアップが開始されます。ダイアログボックスの上段に進行状況の概要、テキストボックスに詳細なログが表示され、「情報」メッセージボックスにより実行中のコマンドが完了するまでの予想待ち時間が表示されます。ログは、ファームウェアインストーラーがインストールされているフォルダーに（ここでは ¥SETUPTOOL）、020625_121234.log のようなファイル名で保存されます。

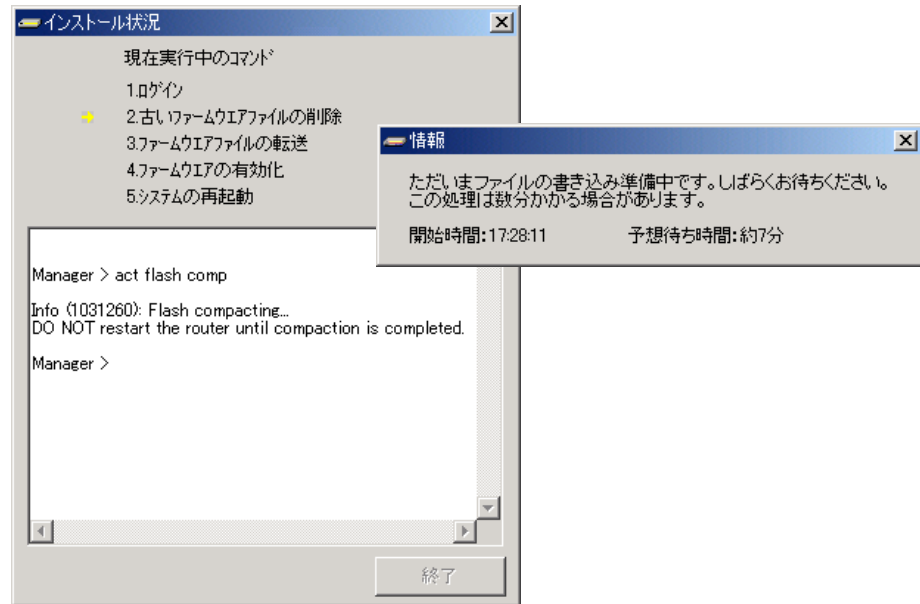


図 3.3.8 インストール状況

重要：手順 9 が実行されている間は（数分かかります）、絶対に L3 スイッチの電源をオフにしたり、再起動しないでください。電源のオフや再起動を実行すると、フラッシュメモリ上のファイルシステムが破壊されることがあります（設定ファイルなどの重要なファイルが失われます）。

- 10 Windows XP (SP2) をご使用の場合で、下記のダイアログボックスが表示されたら、ただちに「ブロックを解除する」をクリックしてください。^{*3}

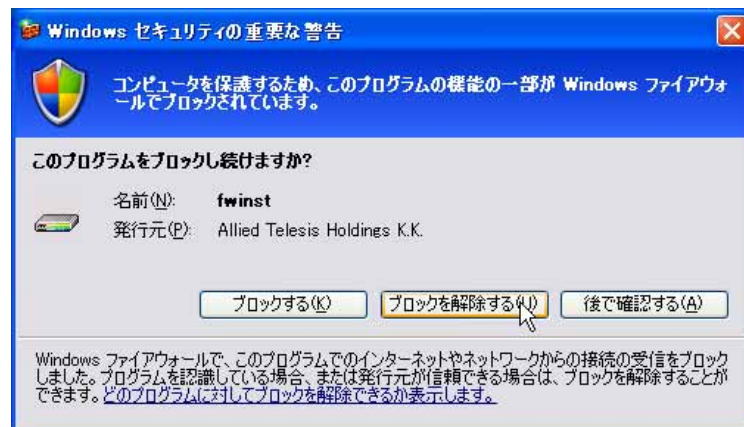


図 3.3.9 ファイアウォールからの警告

*3 図 3.3.9 のダイアログボックスが表示されている間、ファイアウォールは「3. ファームウェアファイルの転送」をブロックしています。一定時間が経過すると、タイムアウトによりファームウェアファイルの転送は失敗します。

図 3.3.9 のダイアログボックスに続いて、次のようなメッセージが表示された場合、ファームウェアのバージョンアップは失敗です。「OK」をクリックすると、ファームウェアインストーラーが終了しますので、図 3.3.9 の「ブロックを解除する」をクリックして、手順 2 (p.6) から再実行してください。なお、バージョンアップが完了するまで*4、L3 スイッチの電源オフや再起動を行わないでください。



図 3.3.10 バージョンアップの失敗

- 11 「ファームウェアの有効化」まで完了した時点で、L3 スイッチを再起動するか否か問われますので、「はい」をクリックしてください。「いいえ」をクリックした場合、L3 スイッチは再起動しません（ファームウェアインストーラーを終了した後、L3 スイッチの電源のオフ / オン、または restart reboot コマンドを実行してください）。

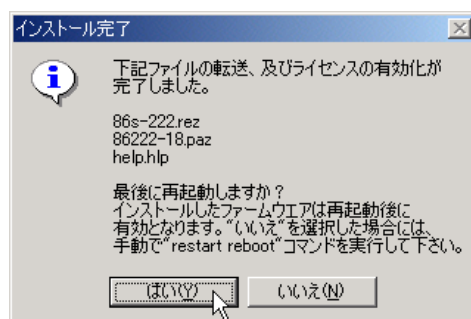


図 3.3.11 再起動の確認

- 12 「OK」をクリックしてください。



図 3.3.12

*4 この時点で、すでにファームウェアファイルは削除されています。電源オフや再起動を行ってしまった場合は、手順 7 (p.8) で「シリアルポート経由」を選択してください。

13 「終了」をクリックしてください。

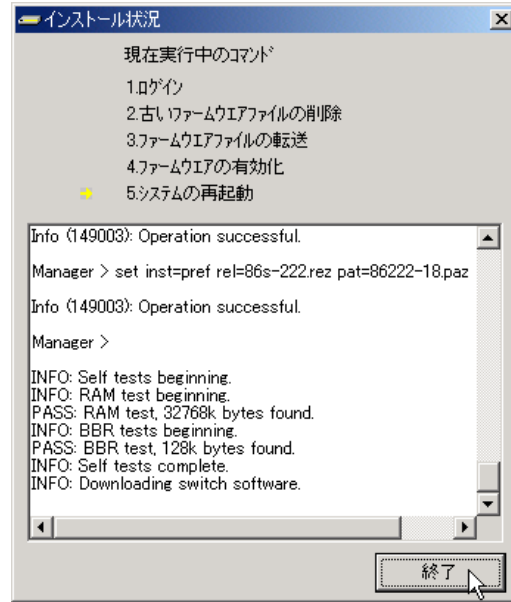


図 3.3.13 ファームウェアインストーラーの終了

14 「はい」をクリックしてください。



図 3.3.14

- 15 以上でファームウェアのバージョンアップは終了です。L3 スイッチの再起動後、ハイパーターミナルや Telnet でログインし、SHOW SYSTEM コマンドを実行すると、Software Version の項でファームウェアのバージョンを確認することができます。SHOW FEATURE コマンドにより、ライセンスが与えられている機能の一覧が表示されます。

```
Manager > show system 

Switch System Status                               Time 12:24:37 Date 08-Jul-2002.
Board      ID  Bay Board Name                               Rev    Serial number
-----
Base       86   8624XL                               M3-1   40896093
-----
Memory -   DRAM : 32768 kB   FLASH : 6144 kB
-----
SysDescription
CentreCOM 8624XL version 2.2.2-18 06-May-2002 ←現在のバージョン
SysContact

SysLocation

SysName

SysDistName

SysUpTime
11216 ( 00:01:52 )
Software Version: 2.2.2-18 06-May-2002 ←現在のバージョン
Release Version : 2.2.2-00 20-Jun-2001 ←リリースバージョン
Patch Installed : Release patch
Territory       : japan
Help File       : help.hlp

Main PSU        : On           Main Fan        : On
RPS Monitor     : Off

Boot configuration file: setip.cfg (exists)
Current configuration: setip.cfg
Security Mode   : Disabled

Patch files
Name           Device      Size      Version
-----
86222-18.paz  flash     342720   2.2-18
-----
```

図 3.3.15 SHOW SYSTEM の表示例

4 トラブルシューティング

4.1 ファームウェアファイルの転送に失敗する

現象

図 4.1.1 のメッセージが常に表示され、ファームウェアファイルの転送に失敗する。^{*5}



図 4.1.1 バージョンアップの失敗

原因

バージョンアップ対象の製品が tftp プロトコルを使用して、ファームウェアインストーラー (fwinst) からファームウェアファイルを取得しようとしたのですが、Windows XP のファイアウォールによって tftp プロトコルがブロックされています。

対策

「コントロールパネル」→「Windows ファイアウォール」^{*6} をダブルクリックしてください。

「例外」タブをクリックしてください。

図 4.1.2 のように「fwinst」にチェックマークを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

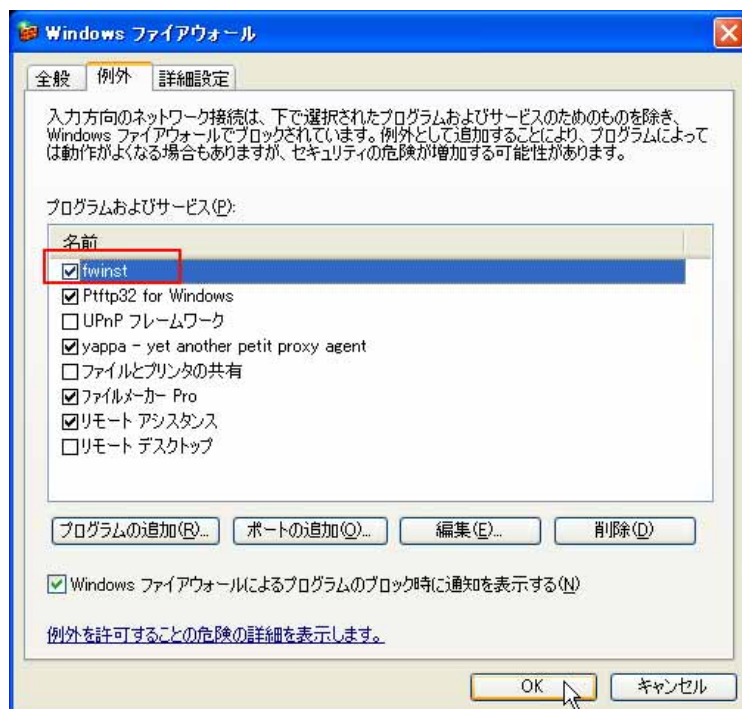


図 4.1.2 fwinst のブロックを解除する

^{*5} 図 3.3.9 (p.9) のダイアログボックスで「ブロックする」をクリックすると、この状況に陥ります。

^{*6} 「コントロールパネル」がカテゴリ表示になっている場合は、「コントロールパネル」→「セキュリティセンター」→「Windows ファイアウォール」のように進んでください。

ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。

アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。

また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2001-2005 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Windows、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2005年8月10日	Rev.H	8624EL F/W ファイル名追加
2005年3月3日	Rev.G	Windows XP SP2 対応
2004年10月28日	Rev.F	89 追加
2004年7月20日	Rev.E	fwis-v196.exe
2003年7月2日	Rev.D	fwis-v192.exe
2003年3月17日	Rev.C	fwis-v191.exe。98、87 追加
2002年7月10日	Rev.B	fwis-v15.exe、AR/SW シングルソース化
2001年9月11日	Rev.A	初版 (96/86)